

6. 事業内容	マラウイの保健分野における大きな課題は、妊産婦死亡率、乳幼児死亡率が高いことである。とりわけ妊産婦死亡率は 510/100,000¹と、サブサハラ以南のアフリカでも高く、全世界の数値と比較しても最下位に位置する。妊産婦の死亡率が高いことは、乳幼児の死亡率も高める一因となっている。そのため、妊産婦死亡率を 2015 年までに 155/100,000 まで減少させることが、国家目標のひとつに設定されている。² また、保健人材の不足等、保健システムそのものも非常に脆弱であり、こうした保健課題に十分対応できていない。 以上の状況を踏まえて、本事業は、3 年間で母子保健に関連する医療インフラの拡充と改善を目指し、2 つの成果【成果 1】産科関連設備の充実・改善、【成果 2】基礎的な医療関連施設の改善を通じた医療サービスの向上)を達成することを目指している。 今年度は、昨年度の活動の成果を踏まえて以下の活動を行う予定である。 (活動詳細については、別添①を参照のこと) イ) 事業対象地域の保健施設の改善を行う。 ● 待機所の建設(1 棟:Kangolwa) 事業申請時には 3 年間に 6 カ所のヘルスセンター(Mndinda, Khuwi, Mzandu, Kangolwa, Malambo, Chinthembwe)での建設を計画していた。その内 Mndinda, Khuwi, Mzandu の 3 カ所は 2 年次で建設中である。一方、事業開始後にンチシ県保健局と協議をする中で、Malambo, Chinthembwe について自らの財源により建設したい旨申し出があったため、3 年次には Kangolwa のみ建設を行うこととする。 ロ) 事業対象地域の保健施設に電気設備を整備する。 ● 電気設備の設置(1 カ所: Mndinda) 事業申請時には 3 年間に 5 カ所のヘルスセンター(Mndinda, Nkhuzi, Mzandu, Kangolwa, Malambo)にて電気設備の整備を予定していた。しかし 2014 年 6 月に、エネルギー鉱業省エネルギー局より、地方電化プログラム(MAREP)の対象として Nkhuzi, Mzandu, Kangolwa, Malambo の 4 カ所が選ばれた旨の連絡があった。既に Mzandu は工事が完了しており、Kangolwa でも電化工事が始まっているため(2014 年 7 月現在)、他 2 カ所も政府によって整備がされることが期待される。よって、本事業ではエネルギー局の計画から唯一外れている Mndinda の電気設備に対する支援を行うこととする。 なお、この他に申請時に計画をしていた産科棟建設(Malambo)、医療設備・機器の設置(Chinguluwe, Nkhuzi, Kamsonga, Mzandu, Kangolwa, Malambo, Chinthembwe, Nthondo, Malomo 県病院)、医療従事者宿舎建設(Mndinda, Khuwi, Malambo)、水道設備整備(県病院、Malambo)については、政府独自の財源により建設・整備済みや予定があることから、カウンターパートと協議の結果、本事業では対象としないこととする。具体的な建設状況及び建設予定は以下の通りである。
---------	--

¹ WHO (2014) *Trends in Maternal Mortality 1990-2013*

² Government of Malawi (2012) *Malawi Growth and Development Strategy II 2011-2016*

	産科棟		待機所		医療設備・機器	
医療施設	申請時 事業対象	実施済み/ 予定変更	申請時 事業対象	実施済み/ 予定変更	申請時 事業対象	実施済み/ 予定変更
県病院					┃	※
Mndinda	┃	1年次	┃	2年次	┃	1年次
Chinguluwe					┃	※
Nkhuzi					┃	※
Kamsonga					┃	※
Khuwi	┃	1年次	┃	2年次	┃	1年次
Mzandu			┃	2年次	┃	※
Kangolwa			┃	3年次	┃	※
Malambo	┃	※	┃	※	┃	※
Chinthembwe			┃	※	┃	※
Nthondo					┃	※
Malomo					┃	※

	医療従事者宿舎		水道設備		電気整備	
医療施設	申請時 事業対象	実施済み/ 予定変更	申請時 事業対象	実施済み/ 予定変更	申請時 事業対象	実施済み/ 予定変更
県病院			┃	※		
Mndinda	┃	※	┃	2年次	┃	3年次
Chinguluwe			┃	※		
Nkhuzi					┃	※
Kamsonga						
Khuwi	2	※	┃	2年次		
Mzandu					┃	※
Kangolwa					┃	※
Malambo	┃	※	┃	※	┃	※
Chinthembwe						
Nthondo						
Malomo						

※政府独自の財源により建設・整備済みまたは予定。

事業のサステナビリティに関して、ワールド・ビジョン・ジャパンはンチシ県において 2007 年より、保健分野においては、安全な水の提供を目指した水源開発、乳幼児を中心とした感染症対策、子どもたちの栄養改善、保健ボランティア訓練の 4 つの柱を中心とした事業を実施しており、本事業終了後も必要に応じて、母子保健対策のフォローアップを実施していく計画としている。

また施設の維持管理については、この事業の成果の持続性を確保するために、事業設計段階からマラウイ政府保健省と協議を重ね、産科棟に設置した設備機器の選定はンチシ県保健事務所と保健省が行ったため、現地のニーズとメンテナンスに即した内容となっている。さらに、事業開始後にンチシ県と交わした覚書には、施設・設備・機器は、ンチシ県が運用と維持管理のために必要な担当者の配置ならびに予算措置が行うことを明記している。今後は、本事業終了後もモニタリングを徹底し、維持管理の方法に問題が生じた場合には、再度話し合いを持ち、解決策を検討していく予定である。

7. これまでの成果、課題・問題点、対応策など	<u>①これまでの事業における成果(実施した事業内容とその具体的成果)</u> (2014 年 7 月末日現在) 【成果 1】産科関連設備の充実・改善 県内の医療施設(県病院1カ所、ヘルスセンター11カ所)に適切な産科ケアを実施する体制を整えるために、産科関連施設・設備の整備を行う。(3 年間の目標) 1-1 2カ所に産科棟を建設する 産科棟のない2つの地域で産科棟を建設する。(Mndinda, Khuwi) 1-2 3カ所に安全なお産のための待機所を設置する 待機所のない3つの地域で安全なお産のための待機所を設置する。(Mndinda, Khuwi, Mzandu) 1-3 医療施設に設備・器具を整備する 設備機器を調達し新設産科棟2棟に設置する。(Mndinda, Khuwi) 【成果 2】基礎的な医療関連施設の改善を通じた医療サービスの向上 県内の医療施設の基礎的な設備およびそれに付随する設備の改善を通じて、ンチシ県の全体的な医療サービスの向上に貢献する。 2-2 医療施設2カ所に水道設備を設置する 水道設備のない2つの地域で水道設備を建設する。(Mndinda, Khuwi) 2013 年 3 月 11 日、外務省と特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパンとの間に日本NGO連携無償資金協力贈与契約が締結された後、事業スタッフの採用、オリエンテーションを行い事業が開始された。 事業1年目は、産科棟2棟を建設し、必要な医療器具を整備した。事業2年目には、安全なお産のための待機所建設を3カ所、水設備工事を2カ所にて行っており、マラウイ保健省とともに計画を建て、業者の入札を行った後、それぞれのヘルスセンターを建設業者に引渡し、2014 年 4 月には待機所、5 月には水道設備の工事が着工した。 2014 年 7 月 30 日現在も建設作業中であるが、事業期間内に完成する見通しである。建設工事前には建設事業地の関係者とリーダーに対し、本事業に関する説明会を実施し、事業への参加・協力を促すとともに、ンチシ県に対する開発計画との重複を避けるために、関係団体及び、関係者から聞き取り調査を行い計画の合意・承認を取り付けた。建設工事中には、プロジェクトスタッフ並びに、カウンターパートとともに、建設が予定通り行われているか管理・監督を行い、業者による手抜き工事や、質の悪い資材の使用の防止に努めている <u>②これまでの事業を通じての課題・問題点</u> 建設を進めるにあたり、マラウイ政府関係者と連絡を密にとり、細部にわたり合意を得つつ進めるよう心掛けているが、カウンターパートとなる職員が長期不在のケースが多いため、合意に至るまでに時間を要する。また、政府の計画が頻繁に変更され、その通達が遅いために、事業計画立案を効率よく行いづらいケースが多い。 <u>③上記②に対する今後の対応策</u>
--------------------------------	--

	県知事事務所や県保健局をより頻繁に訪れ、モニタリングの際には役職にかかわらず政府関係者を必ず招くなどして、積極的に関わりを持つようにする。また、担当職員が不在な場合には、意思決定ができる別の職員を必ず立ててもらおうよう要請しつつ、政府関係者と密に連絡を取り、どの時期にどの職員が不在になるのかを把握するように努める。
8. 期待される成果と成果を測る指標	本事業実施により期待される総合的な成果(※): 直接受益者: ンチシ県の妊娠中の女性及び 2 歳未満の子どもを持つ保護者: 28,170 組 および 2 歳未満の子ども: 16,590 名 医療従事者: 250 名 施設利用の面から見た直接受益者 - 産科棟建設地域の妊婦 2,816 名 - 産科棟建設地域の授乳中の母親 3,943 名 - 産科棟建設地域の 2 歳未満の子ども 3,943 名 - 県立病院において帝王切開により出産する妊婦 1,778 名 間接受益者 - ンチシ県全人口 237,000 名 - ンチシ県における妊娠可能年齢の女性 52,140 名 【成果 1】産科関連設備の充実・改善 指標 1 産科棟 2 棟が整備され年間約 3,000 人の妊婦がサービスを受けることが可能になる 指標 2 医療施設 4 カ所に待機所が整備され、妊産婦や付添人が待機できるようになる 【成果 2】基礎的な医療関連施設の改善を通じた医療サービスの向上 指標 3 ソーラー電気設備が 1 カ所に設置され、夜間対応が改善される ※本事業に並行して、同地域で自己資金にて実施中の母子保健の啓発事業があり、その事業の成果も含めた数値である。主な活動内容は、コミュニティに対する施設分娩の促進、緊急に受診する必要がある危険サインの周知、妊産婦検診の受診促進、産後健診の受診促進、男性のお産への巻込みの促進、等の啓発活動、並びに政府関係者に対する施設の整備・維持の重要性を周知する活動である。